



伊仙町立方面縄中学校
生徒が光り 学校が輝く 面縄中
令和7年1月27日

友に対する想い 35年という時間を超えて

校長 福永 隆幸

保護者の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も生徒たちの心身ともに健やかな成長のために職員一同力を合わせて取り組んでいきますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

昨年のことではありますが、12月5日に県立埋蔵文化財センターの先生方を講師に『ワクワク考古学』と題して面縄中学校区周辺の遺跡について学びました。国指定遺跡の面縄貝塚や、カムイヤキ遺跡、恩納城跡、喜念や佐弁の貝塚等について説明を受けたり、実際に出土した遺物を観察したり、昼休みには火起こしを体験したりして大変充実した時間を過ごせたと感じています。講師の一人は、藤島伸一郎さんといい、本校を卒業された先輩でした。実は、令和2年2月にもこの学習が計画されていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために延期され、藤島先輩にとっては、待ちに待ったというか、夢にまで見たというか、とても楽しみにしていた母校の後輩に向けての授業だったそうです。面縄小学校や喜念小学校でも実施したので、自分たちの故郷である伊仙町の昔の様子を知り、理解する良い機会になったのではないかと思います。5時間目の2年生の授業では、藤島さんの中学生時代の同級生である保護者や地域住民の方5人も参加されました。友人が、中学校の社会科教師となり、現在の仕事の関係から本校で出前授業をすると聞きつけ、仕事の合間を縫って駆けつけてくださいました。そのことを聞いて、友人同士の結びつきの強さを感じました。中学校を卒業して35年近く経っていますが、変わらない友人への想い、活躍を見届けようとする姿にうらやましさのようなものを覚えました。これが、同じ時間を、同じ場所で苦楽を共にした友情の深さ、重みなのかなと感じた瞬間でした。きっと、夜の懇親会も昔話で弾んだことだろうと想像しているところです。

さて、三学期が始まり、3週間が過ぎようとしています。3年生は地域の方による面接練習を終えて、自信をもって私立高校入試を迎えました。今週は、合格発表があるのでドキドキしている生徒が多いのではないかと思います。私立高校が第一志望の生徒が何人かいるので、『受験は団体戦』という言葉のとおり、全員が合格するまで気を抜かず19人全員で頑張り抜いてください。そして、3年生が卒業の時を迎える日が、あと50日程度に迫ってきました。卒業後は、それぞれが選んだ道に進むこととなりますが、これまでの9年間には苦しいことがあったり、辛いことがあったり、楽しいことがあったり、友人と喜び合ったりしたことがあったことでしょう。それらの全てが良い思い出や経験だったと言えるように、そして、面縄中学校でみんなと過ごせて良かったと言えるように残りの50日間を大切に過ごしてほしいと思います。そして、前述の先輩方のように一緒に過ごした仲間をいつまでも大事にしてほしいと願っています。

最後になりますが、三学期は次年度へ向けての0学期と言われる。始業式で1年生には、学校生活や部活動等での確かなアドバイスができる先輩になるための準備をすること、2年生には、最上級生として下級生を引っ張り、リードしていくための心の成長をうながしました。本校生徒66人が、それぞれの役割や責任を自覚して学校生活を送り、充実した3学期になることを期待しています。



赤い羽根共同募金

12月末、生徒会を中心とした「赤い羽根共同募金」の募金活動を実施しました。14,686円の募金が集まり、伊仙町社会福祉協議会を通じて、募金することができました。御協力ありがとうございました。

学習効果とメディアの関係～2学期の学校評価より～

12月に、生徒を対象に実施した学校生活アンケートから、家庭での学習時間とメディアに接していた時間を紹介します。各御家庭でも話題にしていだければと思います。

	1年	2年	3年
90分以上	26	8	34
60分～90分	48	36	47
30分～60分	26	48	13
30分未満	0	8	6

	1年	2年	3年
2時間以上	10	25	26
1.5～2時間	5	25	33
1～1.5時間	21	30	20
0.5～1時間	21	12	7
0.5時間未満	21	8	14



【家庭での学習時間】単位：％

【スマホ等のメディアに接していた時間】単位：％

川島隆太教授（東北大学加齢医学研究所応用脳科学研究分野教授）は、長年、スマホ等の利用時間と学力の相関関係を研究しています。川島教授は、数年間にわたり、仙台市内の児童生徒約7万人を対象にアンケート調査を実施し、データ分析を行いました。その結果から、次のようなことが分かってきました。

- 1 勉強時間にかかわらず、スマホの使用時間が長い子どもたちから、せっかくやった学習内容が消えてなくなる。
- 2 SNSの過度の使用が学力低下に強い影響力をもつ。

川島教授の研究によれば、スマホの利用が脳の前頭葉の活動低下に大きく影響し、特にスマホ利用後の30～1時間は、前頭前野が十分に働いていない可能性があるそうです。その上で、すでにスマホを所持している子どもについては、利用時間を1時間以内に抑えるなどのルールづくりが必要であると指摘しています。このことは、テレビやスマホでのゲームについても同様で、脳の発達や言語能力の成長に大きな影響を与えるそうです。家庭で、「スマホ等の利用時間は1時間以内にする。」「家庭での学習や家庭での手伝いが終わってから使用する」「睡眠時間を確保する」等のルールづくりをすることが大切だとのこと。その他、川島教授は、「睡眠時間を確保することで脳の海馬が成長する」「本を読む子どもは脳内ネットワークが発達する」「朝食習慣で脳の形や働きが変わってしまう」「家族での会話やコミュニケーションが子どもの知的好奇心や自己肯定感に大きく影響を与える」等についても指摘しています。家庭でのコミュニケーションづくりや、スマホ等のメディアとの接し方について、見つめ直す機会にしていだければと思います。

【参考文献・一部引用】

「2時間の学習効果が消える！やってはいけない脳の習慣」 横田晋務・著/川島隆太・監修 青春出版社

「スマホはどこまで脳を壊すか」 榎浩平・著/川島隆太・監修 朝日新書

入試に向けた面接指導

1月11日(土)、学校運営協議会の委員の方や、地域の方々に御協力いただき、3年生を対象にした面接指導を行いました。直前に迫った私立高校入試に向け、普段とは異なる緊張感の中で、面接官の質問に答えていました。3年生は、今回の練習のおかげで、入試当日も落ち着いて、面接に臨むことができました。



部活動の記録～おめでとう！～
第29回新人バレーボール伊仙大会
女子バレーボール部 優勝



【2月の主な行事予定】

- 6日(木) テスト前部活動停止～13日
- 8日(土) 土曜授業・立志式・学校運営協議会
- 10日(月) PTA朝のあいさつ運動(1年)～14日・SC
- 13日(木) 学年末テスト～14日
- 18日(火) SC
- 20日(木) 移動図書館来校
- 21日(金) 授業参観(ネットモラル教室)・学級PTA
学校保健委員会・家庭教育学級・PTA評議員会
- 27日(木) 部活動運営協議会
- 28日(金) 読み聞かせ(1・2年)
コーヒー豆収穫体験(2年)

毎月第3土曜日は「青少年育成の日」、毎月第3日曜日は「家庭の日」、毎月19日は「育児の日」、毎月20日は「交通安全の日」毎月23日は「子どもといっしょに読書の日」です。